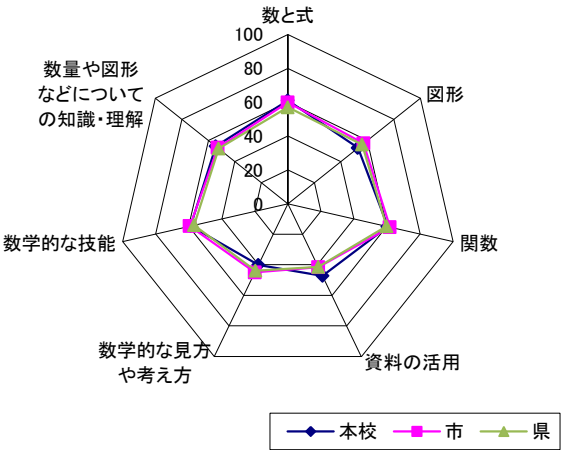


宇都宮市立陽南中学校 第2学年【数学】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	数と式	61.1	59.8	57.0
	図形	52.9	57.1	56.1
	関数	60.4	61.8	59.8
	資料の活用	47.2	41.6	41.4
観点	数学的な見方・考え方	40.1	44.9	43.9
	数学的な技能	58.9	59.4	56.8
	数量や図形などについての知識・理解	54.4	53.0	52.3
内容	総合（教科全体）	56.8	56.7	54.9
	基礎（基礎・基本）	63.7	61.5	59.4
	活用（思考・判断・表現）	40.1	44.9	43.9



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式	○正の数・負の数、文字式、1次方程式ともに宇都宮市の平均を上回っており、向上が見受けられた。 ●問題場面における数量関係を不等式で表すことや問題場面から1次方程式を立式する問題はそれぞれ51.0、ポイント36.2ポイントとかなり正答率が低い。	・授業の最初に行っている豆テストの継続や文章表現されているものへの取り組み方など指導を継続していく必要があると考えられる。
図形	○正四角すいの体積を求めるなど基礎的なことは宇都宮市の平均1ポイントを上回っている。 ●最短距離を作図する活用分野などは宇都宮市の平均より3.4ポイント低く、課題が見受けられる。	・公式や知識をそのまま問われることについては対応できるが、その活用を問われる問題については理解が不十分であり、授業の中で場面を増やすなど対応を考える必要がある。
関数	○座標の知識については宇都宮市の平均を10%以上、上回っている。 ●比例の関係をyとxの式で表したり、 $y=2x$ のグラフをかくことなど半数の生徒ができていない。	・全般的に関数分野の正答率が低く、特に活用については理解が不十分な生徒が多い。今後時間をかけて指導が必要な分野である。
資料の活用	○階級値を求めることは市の平均を16%、最頻値を求めることは10%上回っており理解が定着しつつある。 ●ヒストグラムに関して正しくない文章を選ぶ活用についての問題は44%の正答率で宇都宮市の平均を1.4%下回った。	・この分野は昨年、入試問題など具体的な問題練習をかなり積んだのでその成果がかなりでていいると考えられる。生徒にとっては問題が解きやすかったのではないかな。今後も継続したい。